

平成 29 年度 (音楽科) 授業改善推進プラン

	指導方法の課題分析	具体的な授業改善策	補充・発展的な指導計画
1 年	<p>楽典の基礎事項を確認させ、基本的な読譜力を定着させる。</p> <p>混声合唱における、基本的な発声方法を身に付けさせ、美しい歌声づくりの意識を高めさせる。</p> <p>様々な音楽表現に触れ、音楽への興味関心を深めさせる。</p>	<p>フラッシュカードや簡単なリズム譜を用いて、継続的に読譜の練習を行う。</p> <p>C D や範唱の聴取により、混声合唱の響きの美しさを感じることができる体験を多く取り入れる。</p> <p>鑑賞や和楽器などの演奏により、様々な音色な響きに関心をもたせる。</p>	<p>授業で与えた課題を十分に理解し、習得している生徒には、さらに表現を深める課題を与える。</p> <p>授業の理解・習得に時間を要する生徒には、個別指導を行い、パート練習により個別練習の時間や自主練習時間を確保する。</p>
2 年	<p>混声合唱における発声の基本を見直しながら、美しい発声を意識することを定着させる。</p> <p>楽曲のしくみや作曲者の意図を考えながら、自らの曲想表現を工夫させる。</p> <p>基本的な読譜力を定着させ、視唱や視奏の力を付ける。</p>	<p>呼吸や口の開け方などに常に留意させながら、歌唱させる。</p> <p>作曲の背景や作曲者の考えを伝え、考える時間をもたせる。</p> <p>合唱全体におけるパートの響きや役割を、パートごとに考えさせながら、曲想づくりを行っていく。</p> <p>読譜の演習や、簡単な聴音課題を継続的に行う。</p>	<p>授業で与えた課題を十分に理解し、習得している生徒には、さらに表現を深める課題を与える。</p> <p>授業の理解・習得に時間を要する生徒には、個別指導を行い、パート練習により個別練習の時間や自主練習時間を確保する。</p> <p>鑑賞だけでなく、実技においても、自らの音楽を丁寧に聴く意識をもたせる。</p>
3 年	<p>混声合唱の表現をさらに深めさせる。</p> <p>鑑賞の能力を伸ばし、音楽の世界観を深めさせる。</p>	<p>発声練習でののびのびとした歌声が、楽曲でも活かせるようにする。</p> <p>さまざまな曲想の要素に着目させながら、合唱表現の工夫をさせる。</p> <p>総合芸術の作品を鑑賞することにより、音楽と他の芸術がつながっていくことや、音楽の歴史などへの興味をもたせる。</p>	<p>表現活動が不十分な生徒には、個別のアドバイスや実践の練習を補充する。</p> <p>合唱指導やパート練習などを通して、常にお互いの音を聴き合い、自らの表現活動に活かすことを意識させる。</p>